



越前おおの

報道資料

【発信日】令和4年11月22日

【問い合わせ先】

まなびの里「めいりん」

教育委員会事務局生涯学習文化財保護課

担当者名 佐々木、不二山

電話 0779-65-5590 内線 75-204

旧家に伝来した江戸時代の甲冑を展示します

～新収蔵資料 平野治右衛門家伝来の甲冑～

新収蔵資料である平野治右衛門家伝来「紺糸威鉄錆地桶側五枚胴具足」こんいとどしてつきびじおけがわごまいどうぐそく及び関連文書を展示しています。

つきましては、市民をはじめ、多くの皆さんにご来場いただきたく、周知をお願いいたします。

記

- 1 期 間 本日～令和5年1月15日（日）
- 2 場 所 大野市歴史博物館（大野市天神町2-4）
電話0779-65-5520
- 3 内 容 和泉地区川合にある平野治右衛門家に伝来した甲冑及び関連文書の展示。
詳細は別紙「平野治右衛門家伝来「紺糸威鉄錆地桶側五枚胴具足」について」を参照。
- 4 その他 開館時間
・平日 午前9時～午後4時
・日曜・祝日 午前9時～午後5時
- 入館料
・大人 300円
・中学生以下無料
- 休館日
令和4年12月27日～令和5年1月4日

ひらの じ え も ん こ ん い と お ど し て つ き び お け が わ ご ま い ど う ぐ そ く
平野治右衛門家伝来「紺糸威鉄錆地桶側五枚胴具足」について

和泉地区川合にある平野治右衛門家に伝わった甲冑。

兜に「明珍信家」、袖に「増田明珍」、「紀宗正」、「大隈守」の銘があり、明珍派の甲冑師により作られたことがわかる。

本甲冑の形状が、鎧櫃とともに伝わった文書「具足目録」（宝暦三年）、「具足仕立注文」（同年）に記述される甲冑の形状と一致することから、宝暦三年（1753）に大野藩の軍学指南役を務めた中村志津摩通雅が注文し、その頃に仕立てられたものと考えられる。

前立や吹返など、各所に見られる「丸に三つ柏紋」は中村家の家紋とも一致する。

同様に伝わった文書「おぼえ」（年不詳）より、治右衛門が中村より一両で購入したものと思われるが、その経緯は不明。

甲冑は非常に良好な状態であり、平野治右衛門家で大切に伝えられてきたことがわかる。

